

交番磁界治療器エイトが奏功した 脊椎手術後疼痛症候群の一例



徳島大学病院
手術部 助教
笠井 飛鳥 先生



【症例】

60歳、女性

【既往歴】

特記すべき事項なし

【現病歴】

56歳時に、腰部から大腿後面にかけて痛みが出現した。腰部脊柱管狭窄症と診断され、保存的治療が行われた。徐々に疼痛が増強したため、数か月後に腰椎除圧手術を施行された。術後も強い痛みが継続し、経過とともに背部、足底の痛みが加わった。

以後も薬物治療が行われていたが、症状の改善を認めなかったため、58歳時に疼痛コントロール目的で当科に紹介された。

【現症】

背部、腰部、臀部、大腿後面、足底にビリビリ、ジリジリする痛みを認めた。痛みの程度は、日中はNRS 4/10、仕事をする夕方頃から夜にかけてはNRS 7-8/10で、夜間は締め付けられるような感覚を伴った。アロディニアや感覚異常、筋力低下は認めなかった。

【経過】

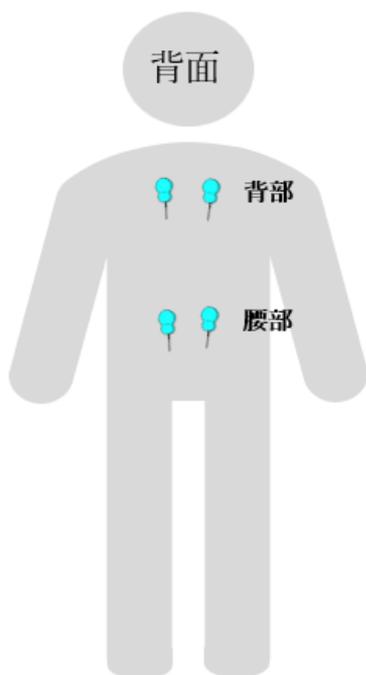
初診時ミロガバリン 20mg、トラマドール/アセトアミノフェン配合錠 2錠が処方されていた。明らかな効果は認めていなかったため、トラマドール/アセトアミノフェン配合錠を中止し、デュロキセチンに変更した。40mgまで増量した時点で、受診時のNRS値に変化はなかったものの、数日間症状が軽快した日を認めた。眠気が強かったため、ミロガバリンを漸減中止した。その後アミトリプチン 10mgを追加し、睡眠障害が緩和されたが、これ以上の疼痛の改善は認めなかった。

副作用を懸念しこれ以上の薬剤の増量は難しかったため、貸し出しを受けていたエイトのデモ機を使用した（期間は約1ヶ月間で、1日2回×1回30分をほぼ毎日行った。パッドは背部と腰部もしくは腰部と両大腿後面に2か所ずつ貼付した）。疼痛は、一番低い時でNRS 4/10まで低下した。日中の痛みには変化がなかったものの、夕方から夜にかけての痛みの軽減、夜間の締め付けられる感覚の軽減を認めた。試用期間が終わった後も継続を希望されたため、以後リースで使用を継続している。

【パッドの固定方法】

背部と腰部にパッドを2つずつ、もしくは腰部に2つと両大腿後面に1つずつ固定して使用。なお、使用期間中は後者の固定方法の頻度が多かった。

【固定方法①】 背部・腰部



【固定方法②】 背部・大腿後面



【考察】

脊椎手術後症候群は、難治性で薬物治療だけでは効果が不十分なことが多い。手技の難易度にもよるが、全ての施設でインターベンショナル治療が併用できるわけではない。エイトは非侵襲的で簡便な治療機器であり、本症例のような慢性疼痛患者に対する新たな治療の選択肢として期待できる。エイトの効果に関しては、多数の症例報告はあるものの、現時点では査読論文は限られた疾患を対象とした1)しかなく、また使用方法についても十分なコンセンサスは得られていない。今後は対象疾患、使用時間や期間、使用頻度についてのさらなる検討が必要であると考えられる。また使用方法についても十分なコンセンサスは得られていない。今後は対象疾患、使用時間や期間、使用頻度についてのさらなる検討が必要であると考えられる。

【今後の課題】

今後の使用上の課題として、以下の点が挙げられる。

- ①バッテリーの消耗が激しいにも拘らず、充電不可かつ電池しか使えない点
- ②コードが短く、複数箇所を使用すると身動きが取りづらい点
- ③パッドの固定性が悪い点
- ④1回30分の使用時間が、患者さんによっては負担になる点。
- ⑤購入した場合のメンテナンス費用が、本体価格に対し高額な点。

【参考文献】

1) Oka H, Miki K, Kishita I, et al. A Multicenter, Prospective, Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Study of a Novel Pain Management Device, AT-02, in Patients with Fibromyalgia. Pain Medicine 2020; 21(2): 326-332

本製品の薬事承認された使用目的は、「2種類の交番磁界を経皮的に照射し、神経を刺激することで疼痛を緩和させる」ことです。本症例報告は疼痛緩和を目的にエイトを使用した際の臨床使用経験を示しておりますが、実際にエイトに使用される際は上記使用目的およびエイトの添付文書等に記載の使用方法等をご確認頂いたうえで、それぞれの患者様への使用適否をご判断いただきますようお願い申し上げます。

薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

(管理医療機器 特定保守管理医療機器)

株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 050-3160-8350

MAIL contact@p-mind.co.jp